

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	商店街（代表者）	・いろいろな規制緩和が進んでおり、徐々に良くなっていく。現在は底を打っている。
		一般小売店〔土産〕（経営者） その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・近隣で台風による被害があったり、地震など天災が相次いで一時の落ち込みがあったが、近いうちに回復する。 ・中部国際空港の開港、愛知万博の開催を控えて機運は盛り上がり、消費行動は年明けから徐々に活発化する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・愛知万博を目前に控えており、来客数は増加する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・増税の話題が足を引っ張らなければやや良くなる。
		百貨店（企画担当）	・愛知万博の開催や中部国際空港の開港により、来春以降は観光客を始め、人出が増え消費も活発化する。
		百貨店（企画担当）	・3か月後はバーゲン時期に当たり、売上増加を期待できる。
		スーパー（経営者）	・伊勢神宮への参拝客が増加しており、来客数が増え販売量増加にもつながる。
		スーパー（経営企画担当）	・1人当たりの購入点数の増加が2か月連続してみられる。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	・冬物衣料から春物衣料へと商材が変化していく。冬物を我慢している消費者が多い分、春物の購買意欲をかき立てる。
		都市型ホテル（支配人）	・愛知万博の開催が迫っている。
		旅行代理店（従業員）	・学生旅行の動きがやや良くなっている。親が金を出しているため、景気は若干良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・土地所有者の税金対策、高齢者の収入確保目的で、アパート、賃貸マンションの建築需要は微増する。ただし、耐震やペット対応、シルバー対応などの特徴を備えた供給ができなければ受注は減少していく。
	変わらない	商店街（代表者）	・相変わらず個人消費は伸びてこない。年末年始の需要期には入るが、客の財布のひもはやはり変わらず固い。
		商店街（代表者）	・景気が良くなる材料が全くない。
		商店街（代表者）	・すべての店が強くもなく弱くもない。商品単価が低くても販売量で補い維持している店もあり、この状態は数か月続く。ただしまだ客に購買力を感じることはない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地元ではボーナスが出ない企業が多いと聞いている。そのため年末年始の売上もあまり期待できない。
		百貨店（売場主任）	・客の購買意欲がない。新しい服を買い求めず手持ちの服で済ましてしまう客も多くみられる。
		百貨店（企画担当）	・1、2月はセール商戦だが、定価で売れなかった商品はセールでも売行き不振という経験もあり、需要期に売れ残ったファッション商材を売ることは難しい。
		百貨店（経理担当）	・外商を中心とした法人需要の改善がみられない。
百貨店（販売促進担当）		・暖冬の影響で冬物衣料は伸び悩む。仮に今後気温が冷え込んでも、10～11月の売上をカバーすることは難しい。	
スーパー（店長）		・当地域の漁業不振は相変わらずであり、野菜も暮れに再び高騰する。さらに原油価格が値上がりしている。そのうえ、食事を外食で済ませる家庭が増えており、スーパーにとってはマイナス要因が増えている。	
スーパー（店長）		・年金、社会保険料など負担の増加に対して消費者は非常に敏感であり、個人消費はまだまだ活発にならない。	
スーパー（店長）		・客単価の傾向からみて今後好転する兆しはない。	
スーパー（店員）		・クリスマス、年末商戦の売上はかなり見込めるが、年明け後に良くなる要素が見当たらない。	
スーパー（店員）		・季節物以外の単価が非常に低下している。これらの単価が上昇しない限り景気が良くなるという判断はできない。	
スーパー（総務担当）		・おせち料理、クリスマスケーキの予約販売が前年に比べて芳しくない。	
スーパー（仕入担当）		・消費税総額表示の影響は依然として続いている。売上、利益とも前年比3～4%は減少している。	
コンビニ（経営者）		・酒類免許を新規取得する事業者は今後も増加する。しかし、年明けからビール、発泡酒がオープン価格化されるため、ディスカウント店、大手酒販店、一般酒販店間の仕入価格の格差は大幅に縮まるはずであり、期待が持てる。	
コンビニ（エリア担当）		・年末、年明けに向けて、営業時間の延長や品ぞろえなど異業種間競争の影響が更に出てくる。	

コンビニ（エリア担当）	・競合の激化に伴う厳しい状況は今後も継続する。
コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲は向上しているが、競合が厳しく期待は持てない。
衣料品専門店（企画担当）	・需要を喚起するトレンドが見当たらない。
家電量販店（店員）	・12月のボーナス商戦は期待が持てるが、年明けの1～2月はあまり変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・年末年始にかけて新型車が投入されるため、現在の需要増は維持される。
乗用車販売店（営業担当）	・来客数や販売量は増えているが、販売単価が低下している。
乗用車販売店（従業員）	・このところ売行きは良く、2、3か月後も変わらない。
乗用車販売店（従業員）	・2、3月には決算キャンペーンを行うが、現状ではあまり期待できない。
乗用車販売店（総務担当）	・ディーゼル車規制により商用車の代替は増えるが、個人経営者はその分自家用車を買って控えることも予想される。
住関連専門店（営業担当）	・円高、原油価格の高騰など不安要因はあるが、自動車販売業界でも大きく落ち込んでいく感触はない。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・建築業界では受注競争が激化しており、販売価格が下落している。
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・11月は年末商戦の入り口に位置づけられ、その売行きによって来年3月までの動きを予測できるが、前年比で特に変化はみられなかった。
高級レストラン（スタッフ）	・やや悪い状態で変わらず、一進一退が続く。
一般レストラン（スタッフ）	・固定客の予約は堅調であるものの、天気や曜日構成の変化で月の業績が変動する状況が続いている。停滞基調に変化はない。
スナック（経営者）	・数か月前にも少し良い時期があったが、結局状況はあまり変わっていない。今後も大きな変化は見込めない。
都市型ホテル（従業員）	・移転オープンしたばかりでこれから客は増えるが、忘年会の客はあまり期待できない。
都市型ホテル（スタッフ）	・予約件数に特に変化はみられない。
旅行代理店（経営者）	・現在の予約状況を見ると大きな変化は望めない。
旅行代理店（従業員）	・来客数、販売量などすべての面で伸び悩んでいる。
タクシー運転手	・中部国際空港の開港記念ツアーを徐々に作り始めているが、申込は期待したほど伸びていない。
タクシー運転手	・愛知万博開催以外に良くなる要因はない。
タクシー運転手	・なかなか先がみえない。増税の話題もあり、現状維持ができればよしと考えている。
タクシー運転手	・良くなる材料は全くない。
通信会社（企画担当）	・長い間横ばい状態が続いている。
通信会社（営業担当）	・インターネット、デジタル放送関連で年末までは好調を維持できるが、近いうちに価格を見直す状況になる。
テーマパーク（職員）	・他社との値引き競争がある一方で、良い材料は見当たらない。
テーマパーク（総務担当）	・東海北陸自動車道沿線のスキー場は比較的人気が出ている一方で、スキー用品の売上が落ちているとも聞いており、楽観はできない。
ゴルフ場（経営者）	・来場者数の推移に大きな変化はない。一方で、円高や増税などの話題が個人消費に影響することが懸念される。
パチンコ店（経営者）	・当ゴルフ場及び愛知県全体のゴルフ場来場者数は依然として前年を下回っている。
パチンコ店（店長）	・今はちょうど踊り場にいる状況である。
美容室（経営者）	・新しい遊技機を導入しているが、県内他店舗や競合店をみても来客数は増えていない。
住宅販売会社（企画担当）	・客は割引や特典がある店へ流れている。競合店が増え、いろいろな選択ができるようになっており、状況は厳しい。
	・契約までの客の姿勢はより慎重になっている。今後この傾向は続く。

やや悪くなる	商店街（代表者）	・地方の商店街は活気がなく、イベントを開催しても客は集まらない。当店の電気製品も持ち帰りできる商品は客は大型店で購入するため、薄型テレビなどの高単価商品に頼らざるを得ない。しかし、今後は単価が低下していくと予測される。	
	商店街（代表者）	・小さな商店は増えていないが、スーパーなどの大型店は次々と開店している。そのため販売量は減る一方で、先行き良くなる見込みはない。	
	百貨店（外商担当）	・このまま暖冬が続くと冬物商材は早々に値下げする。一時的に販売量は増加するが、2、3か月トータルの売上は大きく減少する。	
	スーパー（店員）	・野菜価格は低下しているにもかかわらず、買物点数、単価は一向に上昇していない。	
	コンビニ（エリア担当）	・石油製品やガソリンの値段が上昇しているため、それ以外の出費を抑えようとする人が多い。	
	コンビニ（店長）	・灯油、ガソリンなど燃料費の値上がりにより、ますます消費に影響が出る。	
	コンビニ（店長）	・弁当の売上が他の商品と比べて非常に悪い。異業種との競合も考えられるが、財布のひもが固まっている証拠とも言える。	
	衣料品専門店（経営者）	・売上減少が続いている。依然として明るさはみえない。	
	乗用車販売店（従業員）	・客との商談中に増税の話がよく出る。これが買い控えにつながることを危惧している。	
	自動車備品販売店（経営者）	・フェアやキャンペーンは空振りに終わっており、来客数や客単価を改善する方策がない。ヒット商品などの決め手に欠いた状況を脱することは難しい。	
	住関連専門店（店員）	・クリスマス商品の出足は悪くないが、前倒し購買が起きているだけで、全体の盛り上がりには欠ける。	
	スナック（経営者）	・ここ数年は新年会があまりなく、年明けは静かである。3～4月までは人出も少ない。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・例年通り冬季割引商品を用意しているが、愛知万博開催を控えて法人利用、個人宿泊とも予約は落ち込んでいる。	
	都市型ホテル（経営者）	・不透明な部分が出てきている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・今後の予約状況はあまり良くない。	
	旅行代理店（経営者）	・2、3か月先の予約状況は昨年よりもペースが落ちている。そのため1か月当たりの予約件数が前年を上回るのには難しい。	
	旅行代理店（従業員）	・来年は年始の日並びが悪いため、長期旅行が控えられている。	
	タクシー運転手	・客からは増税の話題をよく聞いており、財布のひもがいつそう固くなることを懸念している。	
	通信会社（開発担当）	・来期の開発受注量は減少傾向にある。	
	ゴルフ場（企画担当）	・ゴルフシーズンにもかかわらず厳しい状況が続いている。2、3か月後は真冬に入り来場者数は一段と厳しくなる。真冬対策として値引きも行うため、売上もかなり減少する。	
理美容室（経営者）	・客からはあまり良い話を聞かない。		
美容室（経営者）	・来客数がどんどん減少している。		
美容室（経営者）	・競合店舗が増加している。		
設計事務所（経営者）	・現在の仕事の規模は非常に小さく、納期も短い。現時点では2、3か月先は全くみえない状況である。		
設計事務所（営業担当）	・とにかく仕事がなく、給料も下がっており、悪くなる一方である。		
住宅販売会社（経営者）	・消費者は給料の引下げなどで住宅を買う頭金がない。また、少子化で住宅を買う人口の絶対数も少なくなっているため先行きは悪い。		
悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・お歳暮商戦は2～3年前から全くふるわない。最近では増税の話題も出ており、昨年よりも悪くなることを懸念している。	
	一般レストラン（経営者）	・テレビなどで税金や社会保険料の負担増などの報道がされている影響で、消費者の財布のひもはいよいよ固まっている。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税が終了し、受注は減少する。	
企業動向	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新規住宅着工件数が大幅増加しているため、窯業界の景気は今後良くなる。

関連	やや良くなる	電気機械器具製造業（従業員）	・主要取引先が好調であり、それにけん引されて受注量の増加が見込める。
		金融業（従業員）	・周囲の企業は例年よりもやや活発化している印象を受けている。
		金融業（企画担当）	・資金需要が出てきており、2、3か月先はやや良くなる。
		企業広告制作業（経営者）	・業種、業態間で格差は広がる傾向にあるが、全体としてはやや良くなっている。
		行政書士 その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・現在の忙しさが続いていく。 ・今年度いっぱいはいは好調さを継続できる。
変わらない	化学工業（企画担当）	・今後もしばらくは好況を維持できる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・鋼材の値上がりはどこまで続くか懸念しているが、全体としてはあまり変わらない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・改善傾向も実感しているが、まだまだマイナス材料もある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・一部商品で市場は伸びているが価格競争も激化しており、国内外とも売上は同レベルと見込んでいる。 ・円高が更に進み長期化するようであれば、購入部材の大幅なコストダウンにより収益面に大きく影響してくる。	
	建設業（経営者）	・受注量は徐々に増えているが、価格は低下している。一般企業の事務所、会社、工場等の新築、増築は減っており、改築とまりになっている。	
	建設業（経営者）	・受注量、受注単価からみて大きな変化はない。	
	輸送業（エリア担当）	・季節通りの気候にならないとそれに伴う商品が動かない。このことが荷物量の低下に結び付いている。	
	輸送業（エリア担当）	・荷物量は増えてきている。しかし燃料が10%以上も値上がりしており、その分を運賃に転嫁できないでいる。	
	広告代理店（経営者）	・愛知万博の特需が見込まれるのが良い要因であるが、それ以外では来年度に向けてあまり希望が持てない。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告は堅調に推移している。ただし新聞購読量が頭打ちになっている。	
	公認会計士	・納税や借入金返済に伴い資金繰りが悪化する会社が出始めている。中小企業の淘汰はまだ一巡していない。 ・今後、原油価格の高騰の影響で大企業の業績が悪化すると、中小企業にも影響が出てくると考えている。	
税理士	・原油、鋼材等の原料価格の高騰があり、企業はコスト面で安定していない。		
やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・得意先の小売業の売上が前年を下回っている。また原油価格の高騰が企業収益に影響を及ぼしてきている。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・原油価格の高騰等の影響でやや悪くなると思われる。	
	化学工業（人事担当）	・円高の原因が一番大きい。ここしばらくは景気は少し下向きになる。	
	鉄鋼業（経営者）	・業界では販売不振による資金繰りの悪化が懸念されているため、少しでも単価が弱含みになると景気は下降する。	
	金属製品製造業（従業員）	・現在は納期が集中して繁忙を極めており、今後はその反動が出てくる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・素材は継続的に値上げされているが、副資材もすぐにも値上げされそうである。これを客に転嫁したいが、取引を中断、中止される可能性があるため、できない状況にある。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の自動車メーカーの生産台数が予定よりもなかなか伸びておらず、数か月先は厳しくなる。	
	輸送業（従業員）	・燃料の軽油価格が依然として高騰しており、会社の収益を大きく圧迫している。今後、石油を原料とするメーカーからも運賃などの物流費値下げを要求されることが懸念される。	
	輸送業（エリア担当）	・客から円高の影響が非常に大きいと聞いている。物流費も値上がりしている。	
	広告代理店（制作担当）	・新潟県中越地震に義援金を寄託している顧客企業が多く、その分広告費予算が削られている。	
	広告代理店（経理担当者）	・元々販売が落ち込む時期であるが、さらに動きが冷え込みそうである。	
	経営コンサルタント	・新潟県中越地震や台風などの影響で自然災害のリスクに対する認識が高まっており、住宅を買い求める意欲がなくなっている。 ・企業でも中小企業まで資金が回ってこないなどの要因で、購買力は弱い。地価動向は今後ますます弱含みである。	
	会計事務所（職員）	・同じ業種内でも景気の良し悪しがはっきりしており、業績の良くない事業者の淘汰は一層強まる。	

		その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	・年明け後2月初旬までは受注減の見込みである。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	・引き合いは前年と比べて低水準が続いている。
雇用関連	良くなる	職業安定所（所長）	・自動車関連企業で、年度末を控えた増産体制確立のため人材確保の動きが目立っている。 ・来年3月高校卒業予定の就職内定者の割合は8割を超えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・鉄鋼、化学、非鉄金属、海運、電機関係などで求人意欲が出ている。今年度の求人で内定辞退などにより予定採用人数に達しなかった企業でも求人意欲が高い。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・自動車製造業関連からの派遣需要が増加している。また、愛知万博関連でも増員注文があり、稼働人数は増えつつある。
		人材派遣会社（社員）	・企業は緩やかな景気回復を見込んでおり、そうした生産計画に合わせて少しずつ求人を増やしている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は前月と比べてほとんど変わらないが、2005年は愛知県を中心に中部国際空港、愛知万博関連以外でも新規開業する施設が多く、関連求人が目立ち始めている。
		人材派遣会社（社員）	・派遣受注は今後も更に増加するが、派遣スタッフがいない状態が続く。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・製造業からの求人は依然としておう盛である。そのため募集拠点の増設を図っているが、応募者数が少なく受注に結び付かない。受注残は非常に多く、労働者不足は相変わらず深刻である。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・求人に関しては、愛知万博、中部国際空港関連需要は頭打ちになっている。当面は現状以上に上昇する材料はない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・有効求人倍率が高くても短期求人の割合が高いため、雇用の安定という観点からは楽観できない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・パート、アルバイトの募集は増えるが、正社員募集は伸びない。 ・技術系求人では求職者側と即戦力を求める企業側とのアンマッチが今後も続く。
		職業安定所（職員）	・電気機械器具製造業や輸送用機械器具製造業では好調を保っている。しかし建設業では発注件数や請負金額は前年同期を上回っているものの、雇用増加にはつなげていない。 ・円高や原油高の影響を懸念する事業者が求人を控える動きがみられるなど、雇用環境に一服感もみられる。
		職業安定所（職員）	・求職者は減少している一方で求人数は増加している。しかし、派遣、請負の割合が高まっているため、雇用のミスマッチは拡大している。
		職業安定所（職員）	・企業業績は改善しているが、原油価格の高騰の影響で、企業は雇用にも更に厳しい条件を求めてくる。
		職業安定所（職員）	・リストラや倒産件数の減少に伴い、切実な就職意欲を持った求職者は減少している一方で、より良い条件を求めて転職を希望する者が増加している。しかし、求職者の希望と企業側の求人条件が合わないことが多く、就職件数は増加に転じにくい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業の採用計画は依然として高位で安定している。しかし、来年度は今年と同程度ないし今年以上に増やす予定の企業は減少している。
		民間職業紹介機関（職員）	・愛知万博、中部国際空港関係の需要は落ち着いており、これ以上求人が増えることはない。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・来年度4月の採用計画は、予定されているすべてを終了している。	
	やや悪くなる	職業安定所（管理部門担当）	・雇用環境はすべての面で厳しさを増しており、景気全体に影響を与えることが懸念される。
	悪くなる	-	-